

花粉発生源対策推進事業（拡充）

【令和5年度予算概算決定額 88,468（108,781）千円】

<対策のポイント>

花粉症対策苗木等への植替えの支援、花粉飛散防止剤の早期実用化に向けた実証試験、スギ雄花の着花状況等の調査、花粉症対策品種の円滑な生産支援等を進めるとともに、これらの対策の強化、普及啓発等を一体的に実施し、総合的に花粉発生源対策を進めます。

<事業目標>

スギ苗木の年間生産量に占める花粉症対策に資する苗木の割合の増加（約5割〔令和元年度〕→約7割〔令和14年度まで〕）

<事業の内容>

1. 効果的な花粉発生源対策の実施に向けた調査及び普及 12,194（8,595）千円
花粉発生源対策を効果的に実施するために必要な因子の抽出・分析手法を検討するとともに、花粉発生源対策に係る国や都道府県等の取組の成果の普及等を支援します。
2. 花粉の少ない森林への転換促進 42,152（53,005）千円
① 花粉症対策苗木等への植替促進
花粉を飛散させるスギ・ヒノキ林の花粉症対策苗木や広葉樹等への植替えを促すため、素材生産業者等が行う森林所有者への働きかけ等を支援します。
② 花粉症対策品種の円滑な生産支援
少花粉ヒノキのミニチュア採種園の管理に係る技術的指導を支援します。
3. 花粉飛散防止剤早期実用化促進 23,900（34,404）千円
花粉飛散防止剤の早期実用化を図るため、より効果的・低コストな花粉飛散防止剤の空中散布技術の確立、ヒノキ花粉にも有効な花粉飛散防止剤の開発等を支援します。
4. スギ・ヒノキ雄花の着花量調査の推進 10,222（12,777）千円
スギ雄花の着花状況等の調査、ヒノキ雄花の観測精度向上のための調査手法の開発を支援します。

<事業イメージ>

花粉の少ない森林への転換促進

・素材生産業者等が行う森林所有者への花粉症対策苗木や広葉樹等への植替えの働きかけ



・少花粉ヒノキミニチュア採種園の管理技術の指導

花粉飛散防止剤早期実用化促進

・より効果的・低コストなスギ花粉飛散防止剤の空中散布技術の確立、空中散布に関する運用ガイドラインの作成
・スギだけでなく、ヒノキ花粉にも有効な花粉飛散防止剤の開発



<花粉飛散防止剤により枯死した雄花>

スギ・ヒノキ雄花の着花量調査の推進

・スギ雄花の着花状況等の調査
・ヒノキ雄花の観測技術の開発、試行的な着花状況調査の実施
・ドローンの活用等による効率的かつ高精度な着花量推定手法の開発



<スギ雄花の着花量調査>

取組成果等情報の集約、一体的に普及啓発

<事業の流れ>



効果的な花粉発生源対策の実施に向けた調査及び普及

- ・花粉発生源対策を効果的に実施するために必要な因子の抽出・分析手法を検討
- ・上記の取組状況や調査成果、特色ある地域の植替促進取組等の情報収集及び発信

【お問い合わせ先】 林野庁森林利用課（03-3501-3845）

(参考資料) 花粉発生源対策に関連した予算措置

【令和5年度予算概算決定額（令和4年度予算額）】

1. 森林・林業・木材産業グリーン成長総合対策のうち林業・木材産業循環成長対策

7,225,179（－）千円の内数

① 優良種苗生産推進対策

再造林の低コスト化に資するエリートツリー等の優良種苗（花粉症対策に資する苗木を含む）の普及を加速するため、採種穂園の整備等による採取源の充実とともに苗木の生産技術の向上を図ることで、優良苗木の供給拡大を支援します。

② コンテナ苗生産基盤施設等整備

コンテナ苗（花粉症対策に資する苗木を含む）を低コストで安定的に供給可能な苗木生産施設等の整備を支援します。

2. 花粉発生源対策促進事業（農山漁村地域整備交付金で実施）

77,390（78,398）百万円の内数

花粉症対策苗木に対する需要の喚起を図るため、スギ人工林等の花粉発生源となっている森林を対象として、花粉発生源の立木の伐倒・除去及び花粉症対策苗木等の植栽に必要な経費の一部を支援します。

【お問い合わせ先】

関連対策1の事業

関連対策2の事業

林野庁森林利用課（03-3501-3845）

林野庁整備課（03-3591-5893）

林野庁整備課（03-3502-8065）